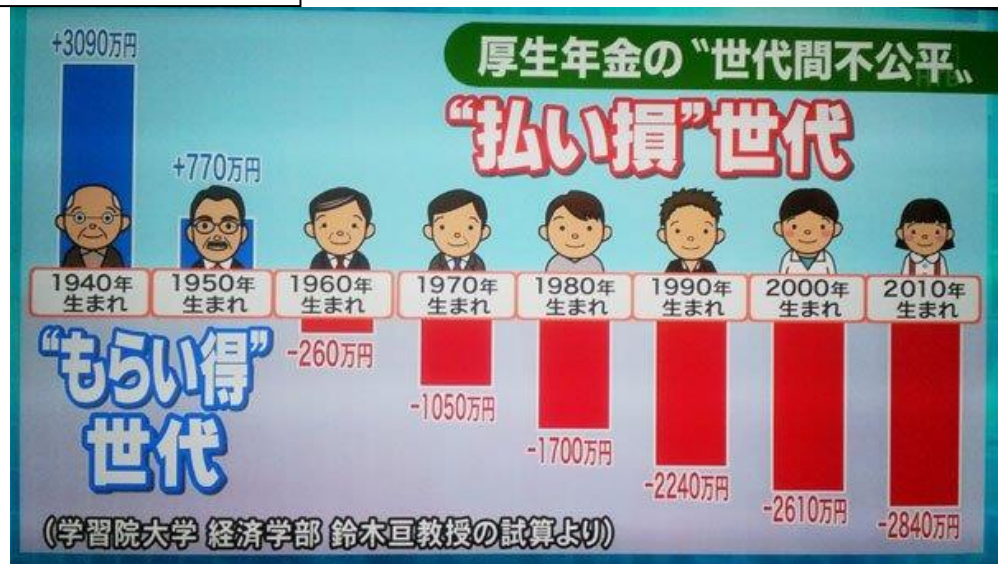
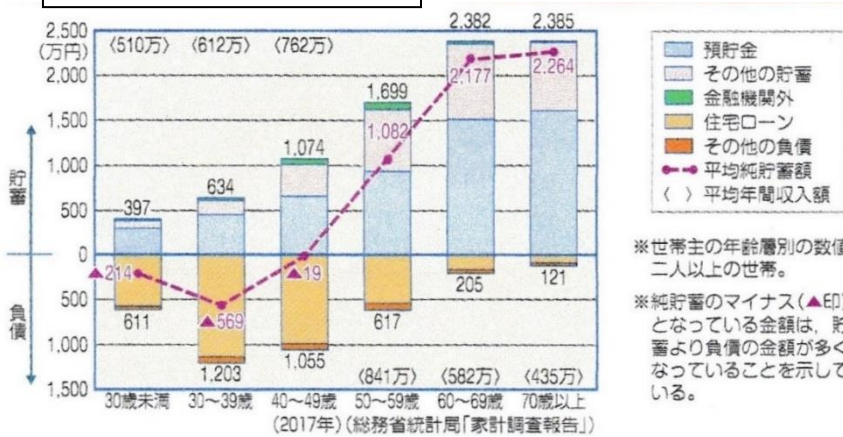


資料1 年金問題を表した図(NHK ニュース)

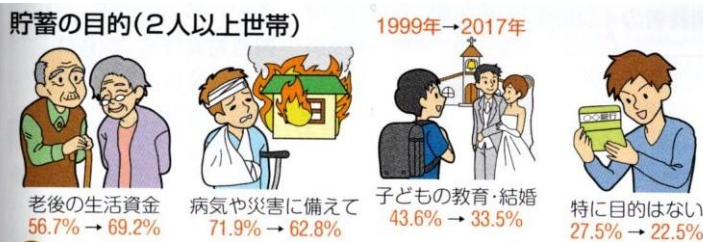


資料2 年代別の貯蓄額と負債額の差



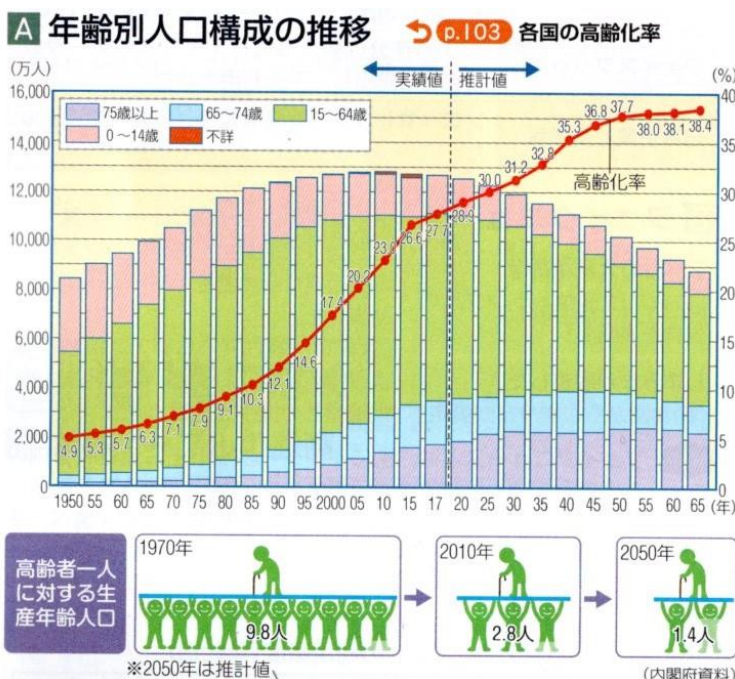
平均純貯蓄額に着目すると、50歳未満はその値がマイナスとなっている。特に30~39歳は負債額が貯蓄額の2倍近くとなっている。50歳未満の人々の多くは負債を多く抱えて生活している。(新学社)

資料3



1999年から2017年にかけて、貯蓄の目的は変化している。その中でも老後の生活資金のために貯蓄する人の割合は増えている。(新学社)

資料4



食生活の変化や医療技術の進歩により、日本の平均寿命は延びた。それと同時に少子化も進行し、日本の人口は減少傾向、高齢化率に関しては増加傾向となっている。(新学社)